記者配布資料

経木のメモ帳

～新たな活用方法の提案～

　経木は、ヒノキやスギ、アカマツなどを薄く削って作る昔ながらの包装材です。かつては日本中で活用されていましたが、生活スタイル等の変化により今日ではほとんど使われることはなくなりました。
　そんな中、伊那市では伊那マツと呼ばれる良質なアカマツが豊富にあること、また日本で数少ない経木を削り出す機械と確かな技術を持った職人がいることから、経木の魅力に改めて注目し、生産と利用の促進に取り組んでいます。

　これまで包装材として利用する他、ランプシェードや食品用カップ等、様々な使いみちを検討してきましたが、この度新たな活用方法のひとつとして、経木を使ったメモ帳を製作しました。

製　作：株式会社やまとわ、株式会社小椋、伊那市（共同開発）
製作数：約３５０個
形　態：ノベルティグッズ（メディア等へのＰＲ用）
製作費：１個　５００円
販　売：受注生産・販売（数量、販売価格については要相談）
　※メモ帳として使うほか、お菓子などの敷き紙としても利用でき、日常生活やオフィスに気軽に地域産の木材のぬくもりを取り入れられます。